

# 研究会開催報告

## 極微構造反応若手の会 単一細胞反応計測九州セミナー

単一細胞反応計測九州セミナーは2006年3月15日に九州大学伊都キャンパスにおいて開催された。本セミナーは極微構造反応若手の会の第2回勉強会である。2006年1月28日に仙台で行われた第1回の集まりが全体会議の後に行われた比較的規模の大きいものであったのに対して、今回の集まりは3月中旬という時期と九州福岡という開催地のこともあり、A01班：単一細胞反応計測にかかわる九州地区の勉強会として企画した。講師としては、水本 博先生（九州大学工学研究院）に特にお願いして「ES細胞の肝細胞への分化誘導法の開発と人工肝臓への応用」というタイトルで最新の研究成果を紹介いただいた。さらに、佐々木善浩先生（奈良先端大学院大学物質創成科学研究科、A02班公募研究メンバー（菊池純一）分担者）には「分子スイッチによる人工細胞ソーティング」というタイトルで人工脂質の機能性組織体について講演いただいた。A01班の研究メンバーからは、朝日 剛先生（大阪大学工学研究科（増原宏）分担者）、石岡寿雄先生（九州大学総合理工学研究院（原田明）分担者）、高橋宏信（九州大学工学研究院（新留康郎）共同研究者）の3名が単一細胞反応計測にかかわる最新の研究成果を紹介した。セミナーの参加者は合計28名であり、講演者の所属以外からは、九州大学システム生命科学府、広島市立大学情報科学部、理化学研究所、近畿大学産業理工学部からの参加者があった。

本セミナーは九州大学原田 明教授の提案で開催されることになったものであり、同じく九州大学岸田昌浩研究室松根英樹助手と私（新留）の3名で幹事役を引き受けさせていただいた。極めて忙しい時期に講演いただいた先生方と、広島からご参加いただいた藤原久志先生始め参加者の皆様、さらに会場準備を手伝ってくれた山田 淳研究室と中嶋直敏研究室の学生諸君に深く感謝申し上げます。

